

令和7年度（2025年度）

放課後デイサービス

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	じゃんけんぼんプラス		
○保護者評価実施期間	7年 11月 20日 ～ 7年 12月 10日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34 (回答者数)	21
○従業者評価実施期間	7年 11月 20日 ～ 7年 12月 10日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	8年 1月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	放課後デイサービスから併設の就労継続支援B型emoriで、お仕事を学ぶの活動で仕事を見学したり、体験したり早期から就労に向けた訓練を行うことで働くことへの不安を少しでも軽減し卒業後の進路を段階的にイメージしやすい環境を整え、自立から就労へと途切れる事なく継続して支援を行うことができます。	B型事業所の支援員と情報共有を行い、子ども一人ひとりの特性や得意・不得意を理解した上で作業内容を決めることでより一貫性のある支援を提供しています。	日々の活動の中で「最後まで取り組む」「分からないときに聞く」「決められたルールを守る」など働くことを意識できるように取り組みをしています。
2	発達の特徴を考え個別活動と集団活動を適宜組み合わせたプログラムを毎月考えて実践しています。	個別活動では一人ひとりの特性や生活リズムを考慮しながら活動内容を調整している。 集団活動ではルールを守り、自分の事だけではなく相手の気持ちも考えて行動できる力が身につくように支援している。	できたという成功体験を積み重ねることで自信を持って物事に取り組む力が身につくように支援しています。個別活動で育てた力を集団活動で発揮できるよう、段階的かつ柔軟なプログラム作りを行っています。
3	来所後から帰宅までの1日の流れを構造的に掲示板に表記することで、次の予定を事前に知ることによって不安や混乱を軽減し安心して行動できるように支援しています。	継続的に掲示板を活用し、活動の切り替え時には職員が「次は〇〇をします。」「あと5分で〇〇をします。」など声かけを行うことで時間を意識し自分から次の行動へ移る力が身につくよう支援しています。	急なタイムスケジュールの変更があった場合は必ず掲示板に書き出しその都度説明するようにしています。
	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の方と交流する機会が少ない。	事業所内で完結する活動が中心となり地域に出る活動が、同じ所へ行くなど限定的になってしまっているため。	公共の場や公園など身近な地域資源を把握し、イベントなどに利用者様が安心して参加できるよう地域交流時の支援方法を職員間で綿密に会議を行っています。
2	家族プログラム（ペアレント・トレーニング）や家族が参加できる研修の機会がない。	保護者会を案内していますが、お仕事されている等多忙な方が多く日程が合わず開催できていないのが現状です。	実際の研修だけではなく、オンラインでのペアレント・トレーニングなどを計画して実践できるように取り組んでいます。土曜日や複数回に分けて行うなど検討中です。